DVD±R/RW/RAM

セットアップガイド

DVR-UEH16G

この度は、「DVR-UEH16G」（以下、本製品と呼びます。）をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用の前に［本書］をよくお読みいただき、正しいお取り扱いをお願い致します。

I-O DATA

B-MANU2004461-01

本製品は情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としています。この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI

動作環境の確認

対応機種※1	USB 2.0※2/USB 1.1※3）ポートまたはIEEE 1394※2ポートを搭載したDOS/Vマシン（弊社製USBインターフェイスまたはIEEE 1394インターフェイスを搭載したDOS/Vマシンを含む）
対応OS	Windows XP※4/2000 Professional※5/Me※6
搭載CPU※7	●データ保存時：Pentium III 450MHz以上　●ビデオ編集・DVD鑑賞時：Pentium III 800MHz以上（リアルタイムレコーディングを行う場合はPentium 4 2.2GHz以上）
メモリ	256Mバイト以上（512Mバイト以上推奨）
ハードディスク※7	空き容量 10Gバイト以上（20Gバイト以上推奨）
ディスプレイ	1024×768ピクセル以上の解像度
インターネット	CPRM技術で録画されたDVDメディアをPowerDVD6を使って再生、またはPowerProducer3で編集する場合には、インターネット接続環境が必要です。
対応メディア※8	●DVD：DVD+R※9、※10、DVD+RW、DVD-R※10、※11、DVD-RW、DVD-RAM※12、DVD-ROM　●C　D：CD-R、CD-RW、CD-ROM

推奨メディア※13	メディア	メディアの速度	メーカー名
	1層DVD+R	16倍速	太陽誘電、日立マクセル、三菱化学
		8倍速（最大12倍速書き込み※16）	太陽誘電、日立マクセル、リコー
		8倍速	三菱化学
	2層DVD+R	8倍速（最大10倍速書き込み※16）	三菱化学
		2.4倍速（最大6倍速書き込み※16）	日立マクセル、三菱化学
		2.4倍速	リコー
	DVD+RW	8倍速	日立マクセル、リコー
		4倍速	日立マクセル、三菱化学、リコー
	1層DVD-R※14	16倍速	太陽誘電、日立マクセル、三菱化学
		8倍速	太陽誘電、日立マクセル、三菱化学
	2層DVD-R	4倍速（最大6倍速書き込み※16）	三菱化学
	DVD-RW※14	6倍速	ビクター、三菱化学
		4倍速	TDK、ビクター、日立マクセル、三菱化学
	DVD-RAM※15	12倍速	弊社ホームページにてご確認ください。
		5倍速	Panasonic、日立マクセル
		3倍速	Panasonic、日立マクセル
	CD-R	太陽誘電、三菱化学	
	CD-RW	三菱化学	

※1 より詳しいUSB機種情報をIO製品検索エンジン「FAQ」にてご案内しております。
http://www.iodata.jp/pio/

※2 USB 2.0端子は、パソコンまたは増設で搭載されているUSB 2.0機能で、ご利用のOSにUSBのドライバやインターフェイスボードなどが含まれます。（Windows2000 SP4、Windows XP SP1以降のOSが必要です。）USB 2.0に対応の場合は弊社製USB 2.0インターフェイスをご利用ください。USB 2.0インターフェイスをお使いの場合には最新のサポートソフトを当社ホームページよりダウンロードしてお使いください。

※3 USB 1.1ポートに接続した場合には、USB 1.1機能として動作します。

※4 USB 1.1準拠で書き込みまたは読み込みをおこなう場合、DVDの読み込みの倍速、CDでは最大8倍速となります。

※5 USB、1.1接続でDVDビデオを再生する場合、十分な転送速度が得られないために、コマ落ちなどが発生する場合があります。

※6 IEをCLIPし、モニタ解像度を以上、Service Pack 1以降がインストールされた機種でのみ動作します。

※7 「PowerProducer3」をインストールする場合には、InternetExplorer5.5以上がインストールされている必要があります。

※8 ドライブ内蔵、Windows XP（2000 Professional）が必要です。

※9 「Ez Recorder GOLD8 Security」で採用をしたDVDへの書き換えできます。

※10 DVDメディアへの2倍速以上で書き込み/読み出しを行う場合、ドライブは2倍速以上に対応していることが必要です。

※11 2層DVD-Rメディアへの書き込みは、ディスアップリンクのみ対応しております。

※12 ●カートリッジから取り出した不可能なメディア（TYPE Bなど）には対応しておりません。
●2.8GバイトDVD-RAMディスクは読み込みのみ対応しております。

※13 推奨メディアIDを使用した場合は、メディアの品質により正常に書き込みできないことがあります。
●最新の情報は、弊社ホームページにてご確認ください。

※14 「Ez Recorder GOLD 8 Security」にてご一部メーカー製のDVD-R/RWを作成する場合には、推奨メディア欄にご使用してありますメーカー製のCPRM対応DVD-R/RW（for VIDEO）メディアをご利用ください。

※15 2倍速以下のメディアは読み込みのみ対応しております。

※16 ここには記載の倍速メディアにて、メディアの倍速表記よる高速の書き込みを確認しております。全ての倍速にいてメディアの倍速表記よる高速の書き込みを保証するものではありません。また、メディアメーカーへの本製品でのメディアの倍速表記よる高速の書き込みに関するお問い合わせはご遠慮ください。

ご注意
●DVD+R/+RW/-R/-RWメディアで作成したDVD-ROM・DVDビデオは、弊社のDVD/CDドライブ、DVDプレーヤー、対応のゲーム機で再生を確認できず、一部再生できない機種があります。
●上記の条件を満たした場合でも、環境やメディアの品質によっては、ドライブの最大性能を発揮できない場合があります。

製品仕様

ドライブ名	GSA-H10N(OEM供給元：株式会社日立製作所)
インターフェイス仕様	USB 2.0(USB 1.1)、IEEE 1394
設置条件	設置方向：水平、垂直（直径は12cmメディアのみ対応）
ディスクローディング方式	トレイタイプオートローディング
データバッファサイズ	2Mバイト
書き込みエラー防止機能	搭載

最大書き込み/読み込み速度		1層+R	2層+R	+RW	1層−R	2層−R	−RW	RAM	ROM
DVD	書き込み	×16	×10	×8	×16	×6	×6	×12	−
	読み込み	×16	×12	×13	×16	×12	×13	×12	×16

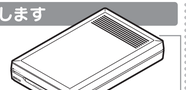
最大書き込み/読み込み速度		C	D	−R	−RW	ROM
C D	書き込み	×48		×32	−	
	読み込み	×48		×40	×48	

適合フォーマット	●DVD：DVD-ROM、DVD-Video ●C　D：CD-ROM Mode1、CD-ROM XA Mode2 (form1、form2)、CD-DA、CD-Extra、CD-I、Video CD、CD-TEXT、PhotoCD
平均アクセスタイム	●DVD-ROM：145ms　●DVD-RAM：200ms ●CD-ROM：125ms
書き込み方法	●DVD+R　：Sequential write ●DVD+RW　：Random write ●DVD-R/-RW：Disc at Once、Incremental、Restricted Overwrite※ ●DVD-RAM　：Random write、Sequential write ●CD-R/RW　：Disc at Once、Session at Once、Track at Once、Packet Writing　※DVD-RWのみ
電源仕様	AC 100V±10%、50/60Hz
定格電流	5V：1.5A、12V：1.0A
動作温度	+5〜+35℃（パソコンの動作する温度範囲であること）
動作湿度	20%〜80%（結露なきこと）
外形寸法	170(W)×270(D)×50(H)mm（突起部分を除く）
質量	約1.5kg（ACアダプターを除く）

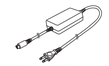
1.準備しよう

内容物を確認します

□ ドライブ（1台）



□ ACアダプター（1個）



□ USBケーブル（1本）



□ 縦置きスタンド（1個）



□ IEEE 1394ケーブル（6-4ピン/1本）



☑ DVR±R/RW/RAMセットアップガイド（本書/1枚）

□ DVD Proツールズコレクション（CD-ROM/1枚）

□ ゴム足（8個）［縦置用：4個/横置用：4個］

□ ハードウェア保証書（1枚）

シリアル番号（S/N）をメモします

シリアル番号（S/N）は本製品背面に貼られているシールに印字してある12桁の英数字です。（例：A0A0000000aa）
シリアル番号（S/N）は以下の際に必要な場合があります。

ソフトウェアのダウンロード

http://www.iodata.jp/lib/

ユーザー登録

http://www.iodata.jp/regist/

ユーザー登録をすると素敵なプレゼントが当たります。
VIP登録者も！

シールサンプル

本製品背面記載のシリアル番号（S/N）を下記の枠にメモしてください。

型　番　DVR-UEH16G
シリアル#：A0A0000000aa
定　格：DC5V 1.5A　DC12V 1.0A
製 アイオーデータ機器

↓ここにシリアル番号（S/N）をメモしてください。

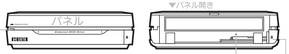
ハードウェア保証書について

「ハードウェア保証書」と「保証規定」は本製品の箱に印刷されております。
本製品の修理をご依頼いただく場合に必要となりますので、大切に保管してください。



各部の名称

ドライブ前面



アクセス/Powerランプ
電源ON時：緑色に点灯します。
書き込み/読み込み時：黄色に点滅します。

イジェクトボタン
押すとトレイが開きます。

緊急イジェクトホール
メディアが取り出せなくなった場合に使用します。

ドライブ背面



電源コネクター
添付のACアダプターを接続します。

USBコネクター
添付のUSBケーブルを接続します。

IEEE 1394コネクター
添付のIEEE 1394ケーブルを接続します。（左:4ピン/右:6ピン）

電源スイッチ

ON ⇐ AUTO ⇒ OFF

電源をお好みに切り替えます。
※［AUTO］（電源連動機能）については右記「電源連動機能とは？」をご覧ください。

注意
●アクセスランプの点滅中は、パソコンをリセットしたり、電源を切ったりしないでください。故障の原因になったり、データが消失する恐れがあります。
●イジェクトボタンを押した際は、すぐ指を離してください。パネルやトレイに指を挟む危険があります。

2.接続しよう

本製品をパソコンに接続します

※Windows XP/2000でセットアップを行う場合には、管理者権限でログオンしてください。

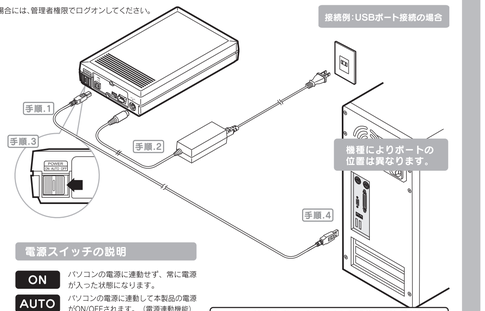
手順.1
本製品に添付のUSBまたはIEEE 1394ケーブルをつなぎます。

手順.2
添付のACアダプターを本製品と電源コンセントにつなぎます。

手順.3
電源を入れます。

手順.4
パソコンのUSBまたはIEEE 1394ポートにつなぎます。
本製品はOSに標準で搭載されているドライバを使用するため、ドライバをインストールする必要はありません。

接続例：USBポート接続の場合



注意
●USBとIEEE 1394へは同時に接続しないでください。故障の原因となります。
●本製品をUSB 2.0で動作させるには、USB 2.0インターフェイスに接続する必要があります。

電源スイッチの説明

ON	パソコンの電源に連動せず、常に電源が入った状態になります。
AUTO	パソコンの電源に連動して本製品の電源がON/OFFされます。（電源連動機能）
OFF	パソコンの電源に連動せず、常に電源が切れた状態になります。

電源連動機能とは？

パソコンの電源のON/OFFに連動して、ドライブの電源がON/OFFされる機能です。ただし、添付のケーブルを使用し、ドライブの電源が［AUTO］の状態の時のみ有効です。
この機能により、パソコンの電源を切ると同時に、ドライブの電源も切れます。
また、次回パソコンの電源を入れると同時に、ドライブの電源も入るので手間が省けます。
※複数のIEEE 1394機器をデイジーチェーン接続でお使いの場合など、環境によっては本製品の電源連動機能が働かない場合があります。



ご注意
電源連動機能により、本製品の電源スイッチをAUTOにした時点では本製品のPowerランプは点灯しません。起動済みのパソコンに接続するとPowerランプが点灯します。電源連動機能を切るには、電源スイッチをONまたはOFFにします。

縦置きにする場合

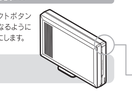
手順.1
添付の縦置きスタンドの裏に、添付のゴム足を4枚貼り付けます。



手順.2
イジェクトボタンが下になるように立て、縦置きスタンドを本体に取り付けます。

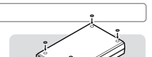


手順.3
イジェクトボタンが上になるように縦置きにします。



横置きにする場合

ドライブの底に添付のゴム足を4枚貼り付けます。



注意
●本製品にメディアを入れたまま移動したり傾けたりしないでください。本製品やメディアを破損します。
●縦置き時、8cmメディアは使用できません。

3.確認しよう

正常に使用できるかを確認します

パソコンを起動して［マイコンピュータ］を開き、CD-ROMのアイコンが追加されていることを確認します。アイコンが追加されていれば、本製品をご使用いただけます。



↑（画面例：Windows XP）

アイコンの追加を確認
※ドライブ文字（番号）は環境によって異なります。

Windows XP以外の場合
左記のアイコンの追加を確認します。

ご注意
Windows 2000/Meでお使いの場合
DVD-RAMドライバーのインストール後は、リムーバブルディスクアイコンが追加されます。DVD-RAMを使用するときは、このアイコンを使います。
（DVD-RAMドライバーのインストール方法については本紙裏面をご覧ください。）

こんなときには

アイコンが追加されていない場合

●［表示］メニューの［最新の情報に更新］をクリックしてみてください。

●ケーブルの接続が正しく行われていることをご確認ください。（パソコンの電源を切り、再度ケーブルを抜き差ししてください。）また、別のポートに挿し直してみてください。

●添付のCD-ROMに収録されているQ&Aの［Q01 本製品をパソコンに接続しても認識しない（本製品のアイコンがマイコンピュータに表示されない）］をご参照ください。

「新しいハードウェア」画面が表示されたまま消えない場合

［キャンセル］ボタンをクリックし、ケーブルをパソコンから取り外します。パソコンを再起動して、取り外したケーブルをパソコンにつなぎます。

こんなときには

「取り外しができない」という内容のメッセージが表示された場合

使用しているソフトウェアをすべて終了してから、本手順をおこなってください。
※それでも同じメッセージが表示された場合、パソコンの電源を切ってから本製品を取り外してください。



その他ご注意

●ケーブルを抜くときは、ケーブル部分を引っ張らないで、コネクターを持って抜いてください。

●一部のウイルス対策ソフトがインストールされている場合には、動作が不安定になる場合があります。

●本製品は、パソコンの省電力機能には対応しておりません。

●本製品を長時間使用した場合は、一旦メディアを取り出し数分おいてから書き込みを行ってください。

4.その他

取り外し手順について

本製品をパソコン起動中に取り外す場合の手順を説明します。
（画面例：Windows XPでUSB接続の場合）

手順.1
タスクトレイのリムーバブルツールをクリックします。
表示されるアイコンはOSによって異なります。



手順.2
本製品の表示をクリックします。
複数のUSB機器を接続している場合は、ドライブ文字（番号）で判断してください。
（画面例：E:ドライブの場合）



手順.3
メッセージを確認します。
（Windows 2000/Meの場合は［OK］をクリックします。）



手順.4
パソコンのポートから、本製品のケーブルを取り外し、本製品の電源を切ります。
AUTOの場合、自動的に電源が切れます。左記、「電源連動機能とは？」をご参照ください。

こんなときには

「取り外しができない」という内容のメッセージが表示された場合

使用しているソフトウェアをすべて終了してから、本手順をおこなってください。
※それでも同じメッセージが表示された場合、パソコンの電源を切ってから本製品を取り外してください。

その他ご注意

●ケーブルを抜くときは、ケーブル部分を引っ張らないで、コネクターを持って抜いてください。

●一部のウイルス対策ソフトがインストールされている場合には、動作が不安定になる場合があります。

●本製品は、パソコンの省電力機能には対応しておりません。

●本製品を長時間使用した場合は、一旦メディアを取り出し数分おいてから書き込みを行ってください。

裏面へお進みください。

てっトリ早く DVDを使ってみよう

■用途に応じて添付ソフトウェアを選択してください。

DVDを再生したい
データDVDをつくりたい
DVDビデオをつくりたい
DVD-RAMにデータを書き込みたい

PowerProducer 3 for OEM (CyberLink)
DVDオーサリングソフト
既存の映像ファイルやDVカメラの映像を使って、DVDビデオを作成する際に使用します。ビデオ編集ソフト「PowerDirector3 Express」も同時にインストールされます。
※［Windows Messenger］を一旦閉じてから、インストールを行ってください。［Windows Messenger］がお使いになっているインストールがおこなえません。
PowerDirector4 Expressアップデータ のインストールが可能です。
Windows XP/2000 Professionalの場合は下記

PowerDVD 6 for OEM (CyberLink)
DVD再生ソフト
市販のDVDや作成したDVDビデオ、または家庭用DVDレコーダーで録画されたDVDをR/RW、DVD-RAMを再生することができます。

GOLD8 Security (B's)
データライティングソフト
通常のデータCD/DVD作成に加えて、簡単なCD/DVDを作成することもできます。
※他のデータライティングソフトやウィンドウズXPインストールされている場合には、本ソフトをインストールする前にそちらのソフトをアンインストールしてください。
※DirectX 9.0f インストールされていない場合では、B's Recorder GOLD8 Securityのインストール時に DirectX 9.0f が自動でインストールされます。

DVD-RAMドライバー (B's)
DVD-RAMにデータを読み書きする際にインストールしてください。
※Windows 2000で最近 1394接続の場合は下記「DVD-RAMドライバーインストール後のご注意」を参照し、追加インストールもあわせて行ってください。

B's CLiP (B's)
パケットライトソフト
DVD-RW/+RW/+DL/-RWにドラッグ&ドロップ操作でデータを書き込むことができます。
※他のデータライティングソフトやパケットライトソフトがインストールされている場合には、本ソフトをインストールする前にそちらのソフトをアンインストールしてください。

PowerDirector4 ExpressアップデータCyberLink
PowerProducer3.2 同時にインストールされる「PowerDirector3 Express」を「PowerDirector4 Express」にアップデートするプログラムです。※Windows XP/2000 Professional のみ対応。Windows Me の場合はCDメニューに表示されません。

EasySaver LE (I-O DATA)
データバックアップソフト：あらかじめ設定しておくだけで自動的にデータのバックアップを取ることができます。
※本ソフトは製品版EasySaverの機能限定版です。

見張っトレイ (I-O DATA)
トレイコントロールユーティリティ：パソコンシャットダウン時にメディアの取り出しおよび自動クローズ/リフトアウトでき、

AdobeReader (Adobe)
PDF文書ファイル閲覧ソフト：本ソフトに付属しているPDF形式の文書ファイルを読む際に使用します。

オンラインマニュアル (I-O DATA)
本製品の「基本操作」や「DVDビデオの作り方」、「困ったときには」などについて説明しています。

トリあえず 用途に応じて必要なソフトをインストールしよう

※Windows XP/2000で収録されているソフトをお使いの場合には、管理者権限でログオンしてください。

1 添付のCD-ROMをDVDドライブに挿入します。
2 メニューが表示されたら［インストール］をクリックします。
3 インストールしたいソフトをクリックします。
4 表示に従ってインストールを進めます。
5 インストールが完了します。（再起動が必要な場合があります。）

こんな時には…
インストールするソフトウェアによっては、シリアル番号入力画面が表示される場合があります。その場合、シリアル番号は自動的に入力されますので、そのまま次の画面に進んでください。

注意 **DVD-RAMドライバーインストール後のご注意** ※IEEE 1394接続のWindows 2000環境でお使いの場合のみ追加インストールをおこなってください。

1 上記手順でDVD-RAMドライバーをインストールします。
2 マイコンピュータを右クリックし、［プロパティ］→［ハードウェア］→［デバイスマネージャ］の順にクリックします。
3 ［DVD/CD-ROMドライブ］の下の［I-O DATA CD-RW V1 IEEE 1394 SBP2 Device］をダブルクリックします。
4 ［ドライバ］タブをクリックし、［ドライバの更新］ボタンをクリックします。
5 ［次へ］ボタンをクリックします。
6 ［このデバイスの既知の…］を選択し、［次へ］ボタンをクリックします。
7 ［DVD-RAMデバイス］と表示されているドライバを選択し、［次へ］ボタンをクリックします。
8 ［完了］ボタンをクリックします。インストール後、デバイスマネージャにある［記憶域ボリューム］の下に［汎用ボリューム］が追加されていることを確認してください。［DVD/CD-ROMドライブ］の下には、［I-O DATA CD-RW V1 IEEE 1394 SBP2 Device］と表示されます。

困った時には…
添付CD-ROMのメニュー より［Q&A］をご参照ください

それでもわからなかったら…
I-O DATA テクニカルサポートセンター
TEL 06-4861-8234
受付時間：10:00～12:00/13:00～17:00
月～金曜日(祝日は休日)（ビクター・エイ・エー・ビーの休業日を除く）

注意 **B's Recorder GOLD ＋ B's CLiPを使用する際のご注意**

- 録音機能を実装(オプション)しておらず、実際に次行にないで書き込みを行うと、書き込みに失敗する場合があります。
- マルチセッション・マルチボーダーセッション書き込みでデータを追記することはできず、1つ記録したメディアの最初から最後までを1セッションとします。（B's Recorder GOLD）の「メディア」メニューの「情報」を選択してください。エクスプローラの「ファイル」メニューの「プロパティ」を選択すると表示される「使用領域」では、OSの仕様により実際のセッションの容量に関係なく1MB/CD-R/RWメディアとして表示されます。
- 追記DVD-Rメディアにマルチセッションで書き込みを行った場合、市のドライブにて追記のセッションのみ読み込むことができます。
- 追記DVD-R/-RWメディアに、B's CLiPで書き込みを行った場合、市のドライブで読み込むことはできません。
- 一度でも書き込みに失敗したDVD-R/-RW/+Rメディアは使用しないでください。また、実に動作しない場合があります。書き込みに失敗したDVD-R/-RW/+RW/+RW/CD-RWメディアは（B's Recorder GOLD）を使用して、いったんデータを消去した後に再び利用ください。
- いったん［B's Recorder GOLD］の書き込み機能を含む行ったメディアに追記する場合は、必ず［B's Recorder GOLD］の書き込み機能を使用してください。また、いったん［B's CLiP］の書き込み機能を含む行ったメディアに追記する場合は、必ず［B's CLiP］の書き込み機能を使用してください。
- ●一度（B's CLiP）でフォーマットしたDVD-R/RW、CD-RWメディアを再フォーマットする場合は、［B's Recorder GOLD］や［B's Easy］でいったん標準形式にでから、［B's CLiP］でフォーマットしてください。
- ●［B's Recorder GOLD］にてCD-ROM上に機能付きDVDを作成する場合には、本紙表面［推奨メディア］欄にてご案内しておりますメーカー製のCPRM対応DVD-R/RW for VIDEOメディアをご使用ください。
- ●ドライブメニューについたプレーヤを書き込みでから、メディアへの書き込みを行う場合、書き込むデータ量と同じデータ容量を確保がハードディスクに必要です。
- ●［B's Recorder GOLD］の［書き込み］ボタンを押さないでください。
- ［書き込み］ボタンを押さないで